

高等院校日语专业系列教材 ● 总主编 修 刚 王健宜

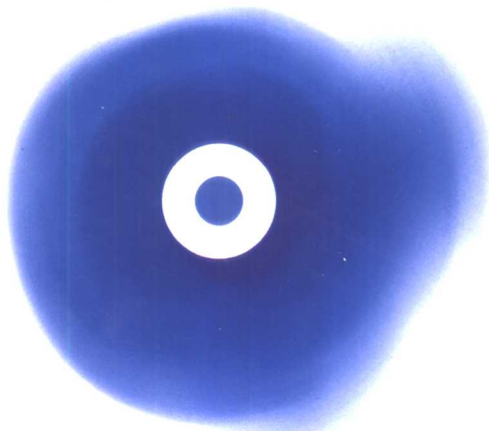
高级 日语

上

Japanese

主编 赵文华 张秀华
编者 赵文华 胡玉琴 梁淑梅 杨凤莲

南开大学出版社



Japanese

责任编辑：张 华 封面设计：丁沙铃

ISBN 7-310-02132-0



9 787310 021321 >

ISBN 7-310-02132-0
H·423 定价:18.00元



高等院校日语专业系列教材

总主编 修 刚 王健宜

高级日语

(上册)

主编：赵文华 张秀华

编者：赵文华 胡玉琴 梁淑梅 杨凤莲

南开大学出版社

天津

图书在版编目(CIP)数据

高级日语.上册 / 赵文华,张秀华主编. —天津:南开大学出版社,2004.12
ISBN 7-310-02132-0

I. 高... II. ①赵...②张... III. 日语—高等学校—教材 N. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 059318 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人:肖占鹏

地址:天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542 邮购部电话:(022)23502200

*

南开大学印刷厂印刷

全国各地新华书店经销

*

2004 年 12 月第 1 版 2004 年 12 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 16 开本 11 印张 264 千字

定价:18.00 元

如遇图书印装质量问题,请与本社营销部联系调换,电话:(022)23507125

高等院校日语专业系列教材

编 委 会 名 单

总 主 编

修 刚 王健宜

编 委

张秀华 张晓希 张敬茹 石云燕 赵文华

序

进入 21 世纪以来,随着高等教育的迅猛发展,高校日语专业大幅度增加。据中国日语教学研究会统计,中国高等学校中设立日语专业的学校已经由此前统计的 110 所,上升到 210 所左右,增加了近一倍。而天津的日语教育便是其缩影:曾几何时,天津的高校只有四所大学设有日语专业,而今不含高职院校已经有八所学校有了日语专业,而且专业设置和在校生数量仍在增加之中,更何况高职院校的日语专业和学生人数的增长更不可小觑。

日语专业设置和日语学习者的增多,使高校日语教学出现了空前繁荣的局面。与之俱来的,则是日语教材以及辅助教材数量的增长,从某种意义上可以说,高校日语教材也迎来了“战国时代”。有人对此感到不安,担心穷于选择,会造成混乱。其实不然,教材数量和种类的增长是一件好事。首先它是我国日语教学新时期的产物,同时也为百花齐放、百家争鸣提供了有利条件与氛围。只有经历这样的过程,适合中国日语教学的高质量教材才会应运而生。同时,我们也看到,由于教材需求大,市场热,因而“短、平、快”的单本或单科教材较多,而成系列的教材相对较少,更有一些教材的质量尚待提高。我们认为,编写教材的目的是为了切实提高教学质量,而教材本身的质量才是市场竞争的“赛点”。有鉴于此,本系列教材力图形成以下几个特点:

一是系列性强。内容的设置全面、简明而自成系列,不但有传统的精读课教材,还有文章选读、翻译、口语、文学概论、语言概论等,相互间既有关联,又避免重复。

二是编写人员的实力强。本套教材主要由南开大学和天津外国语学院两所大学的教师合作编写,这些教师长年工作在教学第一线,具有丰富的教学经验和宽阔的视野,教材采用单本主编负责制和系列教材编委会负责制的双负责制的方式,保证了教材的质量。

三是教材的实用性强。教材的编写力在结合中国人学习日语,中国成人学习日语的特点,既吸收最近国外的最新研究成果,又结合我国的日语教学的实际。以传授知识为主的教材,用中文撰写,而不是简单编辑,适合我国高校学生或同等学力的人员学习。

四是内容新鲜活泼。力图打破以往教材的古板生硬的方式,尽量结合青少年学习的特点,在注重知识性的同时,注意增强趣味性,使学习的过程成为一种乐趣,让学习者乐而学之。

学习日语的方式因人而异,教材使用也因人而异。但是只用一种教材就能学好日语的时代已经过时。在经济条件许可的条件下,手头多几本教材,可以在比较中学习,博采众

长，有了知识的平台，多了许多新鲜感，强化了知识的系统性。

当然，在实际编写中，限于资料 and 人员等方面的原因，本套教材还存在有待改进的地方，我们推出它，也在于能在广泛听取意见的基础上使之进一步完善，在我国诸多日语教材中成为一套具有强大生命力的系列教材。

中国日语教学研究会 副会长 **修 刚**

中国日语教学研究会 副会长 **王健宜**

2004 年 8 月于天津

前 言

《高级日语》(上、下册)是天津外国语学院和南开大学外语学院两校教师合作编写的一套日语精读教材,供大学日语本科专业高年级学生使用。

在本书的编写过程中我们始终坚持了四个原则。在主文素材选用上我们坚持了教材要与时俱进的原则,使文章同时具备时代感和实用性。本教材所选用的文章中,2003年日本文部省指定的教材占有率达60%。重视了语言运用能力,为全面开展好日语本科段的学习打好基础是我们的又一个基本原则,在题材上我们充分贯彻了多样化的主导思想,选用的文章主要包括传记、小说、评论等,使教材更加实用化。坚持了注重日本的社会、文化背景和中国实际相结合的原则,满足了素质教育的需要。坚持了在培养目标的实际交际能力方面要有所创新,又要在难度和分量上有所控制的原则,难易度把握在普通高校日语专业本科三年级的水平。

本书为上册,由20课构成。每课主要包括主文、句型与语法讲解、自我挑战练习三个部分。其中,自我挑战部分从语言、语法以及读解等方面都是针对主文的一种自测练习,是对所学知识的巩固。为了方便使用者,我们没有单独列出单词表,而是在课文中以旁注的形式标出单词的读音、注释。

本书上册由赵文华、张秀华任主编,编者顺序为赵文华、胡玉琴、梁淑梅、杨凤莲。下册由张秀华、田健、南善、朱学松、曲萌编著。

教材的编写是一项系统的工程,在编写过程中我们力求所编写的教材能令广大师生满意并为此付出了努力,但是,由于时间紧、水平有限,难免存在着不尽人意之处,还望广大师生及读者提出批评指正,以便使教材不断得到完善。

编 者
2004年9月

目 录

第 1 課	抗議する義務	(1)
第 2 課	沈黙の世界	(8)
第 3 課	海の中の声	(15)
第 4 課	玄関扉	(23)
第 5 課	親友	(32)
第 6 課	友情について	(39)
第 7 課	字のないはがき	(49)
第 8 課	二つの悲しみ	(54)
第 9 課	温かいスープ	(62)
第 10 課	小さな手袋	(69)
第 11 課	伝え合い	(80)
第 12 課	四季	(89)
第 13 課	メディアと私たち	(97)
第 14 課	情報時代と情報公害	(105)
第 15 課	機械との共存	(112)
第 16 課	心のバリアフリー	(121)
第 17 課	音	(129)
第 18 課	言葉と人間関係	(136)
第 19 課	学ぶことと人間の知恵	(142)
第 20 課	短歌と俳句、それぞれの表現	(149)
	チャレンジ	(154)
	チャレンジ参考答案	(156)
	文型と表現	(160)

読む前に

1. 乗り物に乗るために、人が並んで待っているところを見たことがありますか。
2. みんなが並んで順番を待っているのに、横から入ってきた人がいたら、あなたはどのような行動をしますか。
3. 横から入ってきた人がいても何も言わない人がいます。このような人に対してどう思いますか。
4. 不正を行った人に対して、何か言ったりしたりするのは、私たちの義務だと思いませんか、権利だと思いませんか。

第 1 課 抗議する義務

なかや うきちろう
中谷 宇吉郎

「日本人は、どうも、抗議をする義務を知らないから困る。」と言った友人があった。何か不正なことがあった場合に、それに抗議を申し込むのは、権利でなくて、義務だというのである。これは、なかなか味のある言葉である。例えば、電車に乗る場合に、乗客が長い列を作って待っている。やっと電車が来て、乗客が順々に乗り込む。そのとき、わきからその列に割り込んで、電車に乗ってしまう人がよくある。そういうときに、自分の前に、わきからひとりくらい割り込んできても、ちょっといやな顔をするくらいで、そのまま黙認してしまうことがある。

こういう場合は、「横から割り込んではいけません。」と抗議を申し込むべきである。それを、ずるずる黙許してしまうことは、一つの道徳的な罪悪であることを、よく承知すべきである。一人くらいのことに、むやみとやかましく言うことを何となくはしたないように考えるのは、大変な間違いなのである。これは、はしたないなどという問題ではない。実は、非常に利己的な考えが、その人の心の底に意識されないで潜んでいるのである。

というのは、わきから、だれかが割り込んできても、黙許してしまうのは、自分も、その人について電車に乗り込めることが明白な場合に限るからである。もし、その人が乗ることによって、自分が乗れなくなる場合だったら、おそらく抗議を申し込むに違いない。それをずるずる黙許するのは、被害が自分に及ばないからである。しかし、そのために、だれか、取り残される人が出てくるかもしれない。そうすると、その人は、次の電車まで、長い間待たなければならないのである。

抗議[こうぎ]① (名・自サ) 抗议

不正[ふせい]① (形動) 不正, 不正经, 坏行为

割り込む[わりこむ]③ (自五) 挤进, 硬加入

申し込む[もうしこむ]③④ (他五) 提出, 提议; 报名

ずるずる① (副) 拖延不决; 拖拉; 滑溜

無闇[むやみ]① (形動) 过分, 过度, (不假思索而) 胡乱

はしたない④ (形) 无聊的, 低俗的

したがって、この場合、抗議をすることは、権利というよりも、むしろ義務である。正直に公衆道徳を守って、列の最後のほうについている未知のひとりの友人に対して、当然果たさなければならない義務なのである。きまりが悪いということは、確かにあるが、それくらいのことは押し切って行すべき義務なのである。

列の中に割り込むというような、明白に悪いことに対してはもちろんのこと、それほどはっきりしていない場合にも、自分で正当と考えた抗議は、平気ですればよいのである。もし、先方に理屈があり、または、何か事情があったら、返答があるはずである。その返答が、なるほどと納得できたら、抗議を引っ込めたらよい。それは、きわめて当然な話である。

けれども、そういう、あまりにも当然なことが、なかなか行われないう。それは、日常すべての問題について、自分の頭で物事を考える人があまり多くないからである。理屈が合えば、なるほどと思うとか、筋が通れば、納得するとかいうこと、すなわち、当然なことを当然と思うことは、実は、人類の長い訓練の末に出てきた考え方なのである。

筋が通った話には納得するということと、筋の通らない話には抗議することとは、同じ頭の作用の両面である。だから、抗議しない人間は、真実に対して、心から納得のできない人間なのである。

(朝日新聞社『中谷宇吉郎随筆選集』より)

きまりが悪い[きまりがわるい] (連) 不好意思の押し切る[おしきる] ③ (他五) 不顾 (反对硬要) 平気[へいき] ④ (形動) 不在乎, 无动于衷, 若无其事

引っ込める[ひっこめる] ④ (他下一) 缩入, 缩回, 撤回

筋が通る[すじがとおる] (連) 符合道理 納得[なっとく] ④ (名・自他サ) 理解, 领会

文型と表現

① ちょっと嫌な顔をするくらいで、そのまま黙認してしまう。

● “くらい” 接用言连体形表示事物达到某种程度, 有感到意外的语感。(～ほど、～程度)

1. 回りがうるさくて、声が聞こえないくらいだ。

周围很吵闹, 几乎连声音都听不见。

2. ゆうべ徹夜したので、立ったままでも眠れるくらい眠かった。

昨天晚上彻夜未眠, 困得站着也能睡着。

3. パスポートを盗まれた時には、どうしていいかわからず泣きたいくらいだった。

当护照被盗窃的时候, 一时不知所措几乎快要哭出来了。

② こういう場合は、「割り込まないでください。」と抗議を申し込むべきである。

● “べき” 是文语助动词“べし”的连体形, 接动词连体形后表示讲话人认为理应如此, 或者讲话人认为有必要做某事。“应该……”, “应当……”, “必须……”。(～するのはあたりまえだ; ～ししなければならない)

1. みんなで決めたことなんだから、みんなで責任をとるべきだ。

既然是大家决定得事情, 应该集体负责。

2. 君が悪かったと思うなら、君のほうから謝るべきだ。

既然你觉得自己不对就应该主动道歉。

3. 学生なのだから、遊ぶ前にやるべきことがたくさんあるだろう。

既然是学生，玩耍以前该做的事情还有很多。

③むやみとやかましく言うことを何となく恥ずかしいように考える。

●“なんとなく”是副词，

(1) 表示不知道为什么，搞不清楚事情的原因或理由，具有“不由得……”的含义。(はつきりとした理由や目的はなしに)

1. 何となく旅に出てみたくなった。

总想外出旅行。

2. 彼と話していると、何となく気分が休まるんです。

和他聊天，不知不觉感到心理轻松。

(2) 表示并没有什么意图或目的而做某事，具有无意识地进行含义。

3. 何となく町をぶらついていて彼に出会ったのです。

在街上闲逛时，偶然遇到了他。

4. 何となく引き出しを開けてみると、王さんの写真が入っていた。

无意中打开了抽屉一看，小王的照片放在里面。

④というのは、自分もその人について電車に乗り込めるからである。

●“というのは”和“からだ”“のだ”搭配使用，用来承接前项，就前项所叙述的事情的原因、理由加以说明，或者在后项对说话人判断的根据附加说明。相当于汉语的“之所以这么说是因为……”，“这是因为……”等。(なぜなら～からだ)

1. 父は彼を信用していなかった。というのは、それまでに何度も騙されているからだ。

父亲不相信他，因为在此之前多次受到他的欺骗。

2. 来週はほとんどのクラスが休講になります。というのは先生がたが入試で忙しくなるからです。

从下星期开始几乎所有的班都停止活动。因为招生考试的工作，老师们要忙起来。

3. わたしは自動車を持っていますが、ほとんど使いません。というのは、交通事故が多くてあぶないからです。

虽然我有汽车几乎不开。因为交通事故多，太危险。

⑤電車に乗り込めることが明白な場合に限る。

(1) “に限る”接体言后表示限定某一范围。

1. 入場者は女性に限ります。

入场者仅限女士。

2. 時間がありませんから、スピーチは一人3分に限ります。

时间关系，演讲时间每人只限三分钟。

3. せっかくテレビを買いかえるのなら、画面がきれいなのに限ります。

难得换台电视机，买就买画面漂亮的。

(2) 接体言、动词终止形后表示某做法最好。

4. 家族みんなで楽しめたかったら、ディズニーランドに行くに限る。

既然是全家人一起娱乐，最好去迪斯尼乐园。

5. 疲れたときは温泉に行くに限ります。

疲倦的时候最好去温泉。

6. そんなときは黙っているに限る。

这种时候沉默是最好的。

⑥自分が乗れなくなる場合だったら、必ず抗議を申し込むに違いない。

●“に違いない”接动词、形容词、形容动词词干、体言后表示说话人有根据的判断、推测。相当于汉语的“一定……”，“肯定……”。(きっと～と思う)

1. 2時間もかけて作った料理だから、おいしいに違いない。

花了两个小时做的饭，肯定好吃。

2. 今夜はすごく寒い。今降っている雨も雪にかわるに違いない。

今天夜晚格外寒冷。现在虽然在下雨，肯定会变成下雪。

3. 何度電話をしてもいないから、彼は旅行にでも行っているに違いない。

给他打了几次电话都不在家，看来一定是外出旅行了。

4. あの人をよく運動するから体が丈夫に違いない。

他经常运动，所以身体肯定很好。

⑦そのまま黙っているのは、被害が自分に及ばないからである。

(1)“に及ばない”接动词终止形、体言后表示涉及不到、不需要、用不着。(そこまで行かない)

1. 妻を手伝いにやろうかという、それには及ばないと妻は言った。

我想帮一帮妻子，可她说不必了。

2. 今すぐ答えるには及びません。よく考えてから答えてください。

不用马上回答，请考虑好以后再回答。

(2)接动词终止形、体言后表示前项的程度赶不上后项，相当于汉语的“不如……”，“赶不上……”。

3. 走ることで彼に及ばないが、泳ぐことでは彼には負けない。

若论起跑步我不如他，但是游泳我不服他。

4. 工業にかけては日本はまだアメリカに及ばない。

工业方面日本还不及美国。

⑧この場合、抗議をすることは権利というよりも、むしろ義務である。

●“というよりもむしろ”接体言、用言终止形，表示在相比较的情况下，后项是对前项的修正、补充或否定的最终认识。可译成汉语的“与其……”，“（莫）不如……”。

1. この点については教師よりも学生のほうがよく知っている。

至于这一点，学生比老师更清楚。

2. 人に聞くよりむしろ自分で考えてみたほうがいい。

不要问别人，最好自己考虑。

3. これでは、手伝ってくれているというより、むしろ邪魔をしているようだ。

这样一来与其说在帮忙，莫不如说在添乱。

⑨何か事情があつたら、返答があるはずである。

●“はずだ”接体言+の、用言连体形后，表示有根据地推断。相当于汉语的“理应……”，“按理说应该……”。

1. あれから4年たったから、今年は卒業のはずだ。

自从那以后已经过去四年，按说今年该毕业了。

2. いくら下等な植物でも、植物である以上は二酸化炭素をとって酸素を吐き出すはずだ。

无论多么低级植物，既然是植物就会吸入二氧化碳，吐出氧气。

3. わたしが確かにあそこに置いたのだから、あそこにあるはずだ。

我的确放在那里了，应该在那儿。

4. お父さんもお母さんもきれいな方ですから、娘さんもきれいなはずですよ。

父亲、母亲都很漂亮，女儿自然应该长的很漂亮。

チャレンジ

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

人間は誰しも、周りに①目に見えない封筒のような筒^{つつ}を持っている。心理的^な縄張り^{なわば}である。その中へはほかの者の入ってくることを許さない。入って来るものは承認を求める必要がある。黙^{もく}ってその枠^{わく}の中へ飛び込んでくる人間があっても、ラッシュの乗り物の乗客どうしのように、互いに人格を認めない。モノである。無視^{むし}することで、かろうじて衝突^さを避ける。

デパートから帰って来ると、独特な疲れ方をしている。それほど歩くわけでもなければ、体を使うわけでもないのに疲労感が大きい。心理の筒を絶えず侵入されているためだと思われる。それに無意識^{はんぱつ}に反発^{はんぱつ}しているから、②ああいふふうに疲れるのであろう。

デパートよりもっと静かな、絵などの展覧会を見て帰った時も同じように疲れているが、これもやはり、心理的^な縄張り^{なわば}を侵^{おか}されるのが原因だと想像される。

③こういうことは^{なか}半ば動物的本能によるのかもしれない。イヌなども、知らないイヌが急に近づくと、これに攻撃を加えようとする。縄張り^{なわば}を無視^{むし}して入って来た警戒^{けいかい}すべきものだからである。敵意はないということをはっきりしてからでないと、縄張りの中に入るのは危険である。イヌにもあいさつがある。

人間も知らん顔をしてほかの人の縄張りを侵犯してよいわけがない。満員電車、デパート、展覧会に限らず、およそ人込み^{ひとご}の所へ出るとひどく疲れるのは、あいさつなしに、縄張りの中へ次々と入って来る者があるからである。いくらそういうものを木石^{ぼくせき}だと思おうとしても、なおかつ心のどこかで、④それに^{いわかん}違和感を持つ。

あいさつは、人間として縄張りの筒と筒とが触れ合う^ふところで、⑤他意のない^ああかしとして提出されるパスポートである。

知り合いでなくても、あいさつは必要なことが少なくない。道を歩いていて、すれ違いざまに、体の一部が触れたとする。その時、ひとこと、

「失礼！」

と言え、相手もつり込まれて

「失礼！」

と応じる。二つの縄張りはぶつかったが、火花は散らないですむ。

ところが、知らん顔をして通り過ぎてしまう人が多い。相手が、運悪く感情的に不安定な、
・触即発の状態にある時だったりすると、

「ぶつかっておいて、あいさつもしないのか！」

というようなせりふが飛び出す。そこで、すぐ、「すみません」とやればなんでもないが、受け
る側の情緒も安定していないと、⑥売り言葉があるなら買おうじゃないか、となる。

「好きでぶつかったわけじゃないのに、なぜあいさつがいるのか。」

など言おうものなら、ただではすまない。

あいさつは、敵意のないことを示す方法である。あいさつを省略すると、敵意を抱いている
と誤解されてもしかたがない。

ヨーロッパ、アメリカにおいては、人々が会うと、握手をする。日本人でもこのごろは、握
手をする人が増えた。皮膚の触れ合いを通じてのあいさつは、それだけ強い結びつきのように
も思われるが、別の考え方もできる。

握手は、お互いに武器を持っていないあかしだという解釈がある。そういうように考えると、
⑧握手が⑦あさましく感じられてしまう。

問1 ①目に見えない封筒 とあるが、何をたとえているのか。文章中から六字で抜き出して書
きなさい。

--	--	--	--	--	--

問2 ②ああいうふうにとは、どんなふうにか。具体的に述べられている一文を抜き出し、初
めと終わりの五字をそれぞれ書きなさい。(句読点も字数に含む)

--	--	--	--	--

 ~

--	--	--	--	--

問3 ③こういうこととあるが、どんなことか。適切なものを次から一つ選びなさい。

- a 人間だれしも、独自の自己の世界を持っていること。
- b 心理の筒に絶えず侵入され続け、疲労感が大きいこと。
- c 外出をすると、独特な疲れ方をし、困り果てていること。
- d 心理的縄張りを侵され、無意識のうちに反発していること。

問4 ④それとは、何を指しているか。文章中の言葉を使って書きなさい。

問5 ⑤他意のないとは、ここではどういうことか。次の空欄に当てはまる二字の熟語を文章中から抜き出して書きなさい。

がないこと。

問6 ⑥売り言葉があるなら買おうじゃないかとあるが、慣用句「売り言葉に買い言葉」の意味として適切なものを、次から一つ選びなさい。

- a 相手の暴言に対して、負けずに同じ調子で言い返すこと
- b 相手の追及の言葉に対して、へりくつを言って言い逃れること
- c 相手のいいがかりに対して、筋の通った発言をすること
- d 相手の不真面目な言葉に対して、たしなめること

問7 ⑦あさましくの意味として適切なものを、次から一つ選びなさい。

- a 内容のない
- b 哀れっぽい
- c みじめで情けない
- d 軽々しい

問8 ⑧握手があさましく感じられてしまうとあるが、なぜか。次の空欄に当てはまる最も適切な言葉を後から一つ選びなさい。

●握手は互いがを意味していることになるから。

- a 人望がないこと
- b 信用できないこと
- c 誠実でないこと
- d 厚かましいこと

問9 この文章で述べられている内容と一致するものを次から一つ選びなさい。

- a デパート、展覧会などで、疲労感を少なくするのには、お互いにあいさつをするのがよい。
- b 日本人の握手は、ヨーロッパやアメリカの人の握手とはその性格が異なっていて、実にあさましく感じられる。
- c 相手に対して敵意を抱いている場合には、見せかけのあいさつはするべきではない。
- d あいさつは他の人の心理的縄張りに侵入する時には、衝突を避けるために不可欠のものである。

問10 「あいさつ」について、筆者の主張が最も強く表れている一文を抜き出し、初めと終わりの七字をそれぞれ書きなさい。

初め： ～

終わり： 。

本文を読む前に、みんなで話し合おう

1. 日本語には、どんなあいさつの言葉があるか。あなたが知っているあいさつの言葉のリストを作ってみよう。
2. あなたは、近所の人や知っている人に会った時、あいさつをするか。
3. 知らない人と二人だけになってしまった時（例えば、エレベーターの中など）、あなたはどんな態度をとるか。その態度は、相手の年齢や衣服、場所や時間によって違うか。

第 2 課 沈黙の世界

かとう ひでとし
加藤 秀俊

満員電車で、乗客たちの行動を見ていて気がついたことがある。それは、このおびただしい数の、おしつぶされた人間たちが、例外なしに無表情で、

しかも無言だ、という事実である。みんな、むっつりと黙って、つまらなそうな顔をしている。もとより、満員電車にのっているということは、あんまり愉快な経験であろうはずがなく、この何千何万の通勤者たちが、いわしの缶詰のごとくにつぶされ、なおかつ、にこにこおしゃべりをしているとするなら、それこそ不気味というべきであろう。無表情、無言、ということこそ、こうした場合の人間性なのである。

だが、その無表情、無言も程度問題だ、とわたしは思う。とりわけ、満員電車から降りるときに、ひと言声をかけるのを惜しんで、無言で人を押しのけ、ドアに向かって移動する人々にぶつかると、なんとなく、変な気持ちになる。それは、あたかも人間のかたまりのまん中を貫通して、巨大なモグラが動いているような感じなのだ。押しのけるほうも、押しのけられるほうも、ひたすら無言。それがわたしには不思議なのである。

同じようなことを、わたしは、例えばデパートのエレベーターなどでも経験する。ある階で止まると、突然に、奥の方から無言のモグラが動いてくる。突然だから、こっちもびっくりする。いずれにせよ、あんまり、いい気持ちのものではない。ちょっとひと言、声をかけてくれればいいのに、と思う。

「降りますよ。」「ごめんなさい。」そういう簡単なひと言がかけられれば、こっちもそれを一つの準備刺激として、通過する空間を作るべく

押し潰す[おしつぶす]
④ (他五) 挤扁, 压扁

むっつり③(副・自サ) 绷着脸, 不和悦

いわし⑩(名) 沙丁鱼

不気味[ぶきみ] ⑩(形动) 令人生畏, 令人害怕

押しのける[おしのける] ④(他一) 推开, 拨开

ひたすら④⑩(副) 一味地, 专心致志

モグラ⑩(名) 鼯鼠